



地域コミュニティの活性化を支援するデザイン

ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科／エクペリエンスデザイン、情報デザイン

両角 清隆 MOROZUMI Kiyotaka

教授、博士（学術）



1. 研究内容

地域で実際に行われている活動を対象に、関係者にとってより快適に行えるようにするための道具・システムの開発・デザイン方法を研究している。

レシピサイトの“クックパッド”や家計簿ソフト“マネーフォワード”に代表されるような、特定の分野のサービスをソフトウェアプロダクトにまとめ、ビジネスとして提供する現代の開発では、生活者の要求への対応と継続的な開発プロセスが重要である。開発の過程に関係者が参加しやすく意見を反映しやすいデザインプロセスや開発ノウハウの蓄積を行い、プロセスやノウハウの一般化を試みている。

2. 地域・産学連携の可能性

ICT を利用した Web サイトやアプリケーションは、適切なカタチ（コンテンツ、画面レイアウト、用語、操作手順や運営方法など）を与えることによって生活者にとって有益なものにできる。そのためには、生活者やビジネス・技術の提供者が適切に開発に参加し、一つのカタチにまとめ、評価と開発を繰り返すことが必要である。

現在取り組んでいる開発対象として、仙台市八木山動物公園の動物案内ボランティアや来園者への情報提供用モバイルアプリケーション（図1）、地域メディアの Web サイト開発支援（図2）、学習コミュニティの情報共有 Web サイト（図3）、地域コミュニティの情報共有支援、などがある。

いずれも、地域や企業とともに取り組み、学生と一緒に解決することで、問題の解決と地域の課題を解決する人材の育成を行っており、今後も積極的に地域や企業と連携していきたいと考えている。



図1. 八木山動物公園動物図鑑“anireco”



図2. 河北 Weekly せんだい Web サイト



図3. CD 学科作品データベース

執筆論文

八木山動物公園案内ボランティア『楽芸員ダッチャ』活動支援—テーマ型コミュニティ形成のための心理的・環境的要件の課題と改善について：両角 清隆、佐藤 飛鳥、二瀬 由理、東北工業大学地域連携センター紀要 EOS Vol.28 No.1 p.57～p.64, 2015



コミュニティサポートデザイン、参加型デザイン（Co-Design）